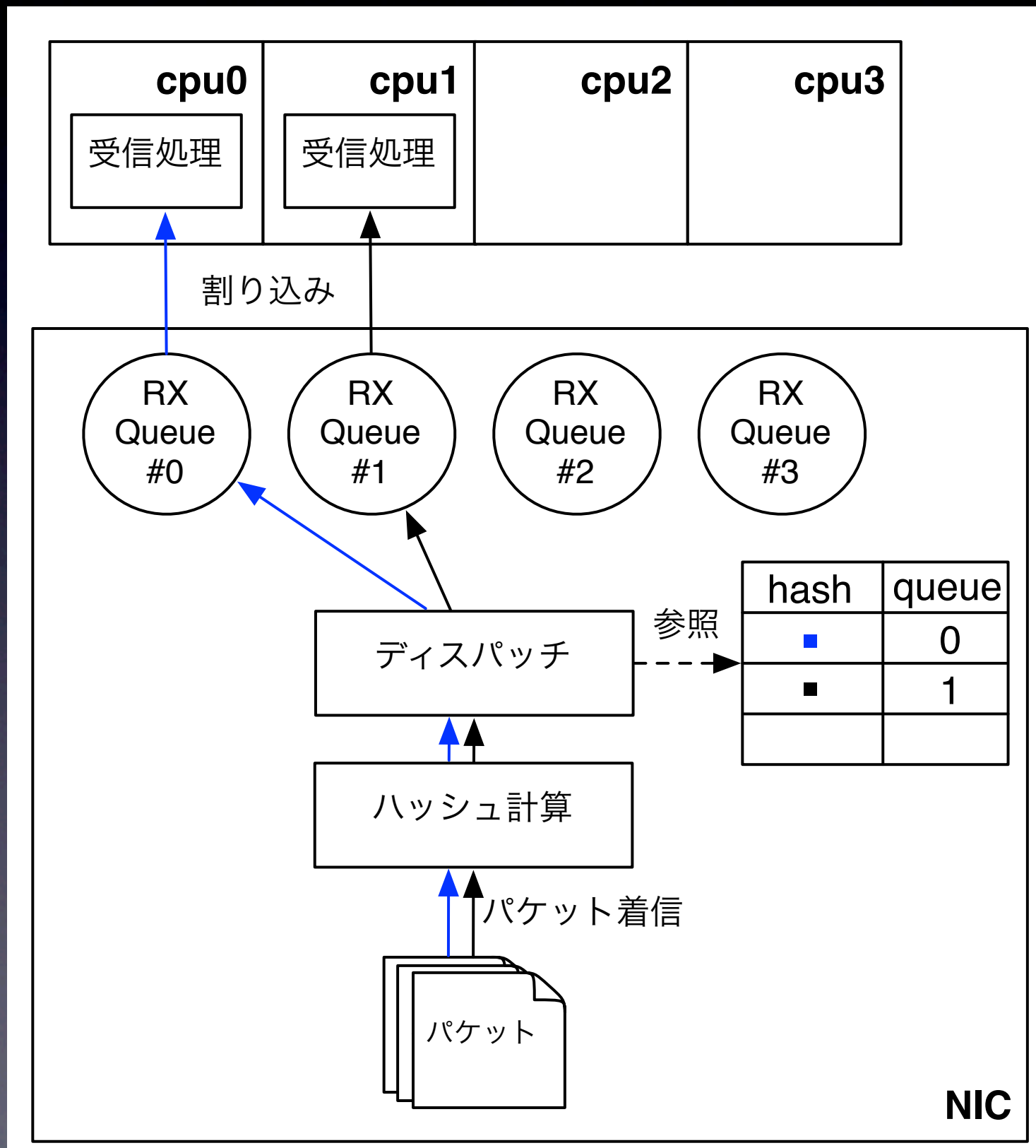


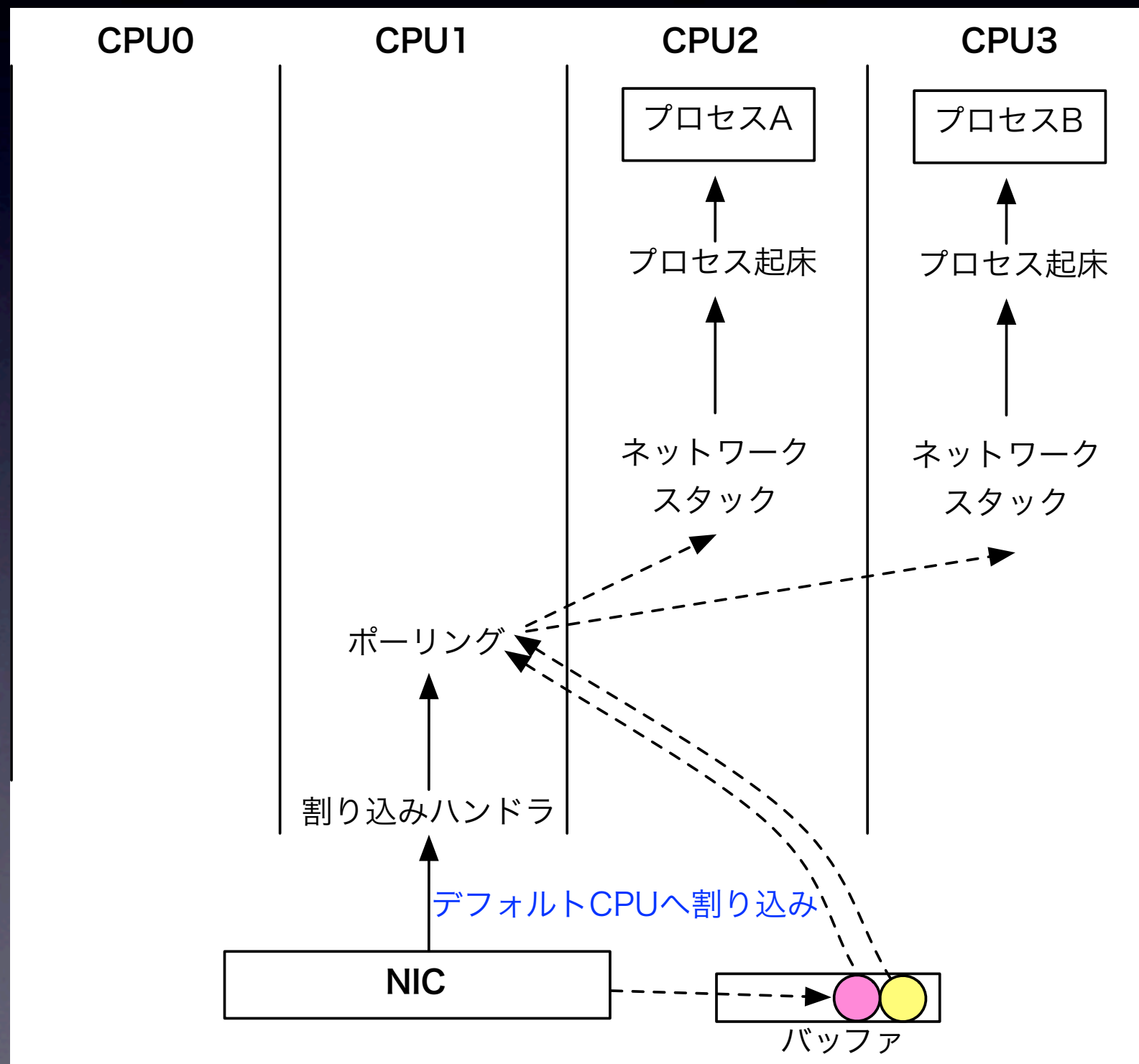
従来のNIC・ ネットワークスタックの問題点

- マルチコア環境においても一つのNICの受信処理は一つのCPUでしか行えない
- 通信量が多いときにパケット処理の負荷が特定のコアへ大きく偏り性能に悪影響を及ぼす
- 1つのNICに届いたパケットを複数のCPUへ分散させる
 - ハードウェアによる実装：RSS
 - ソフトウェアによる実装：RPS(Linux)
 - 分散先CPUの最適化：RFS(Linux)

RSS



RFS



RFS hardware acceleration

- RSS対応NICでもRFSが出来るように、ネットワークスタック＋ドライバを拡張